

Title	パネルディスカッション「学術情報流通の未来：出版社、利用者の語る10年後」次世代OPACから連携の枠組みへの期待
Author(s)	久保山, 健
Citation	
Version Type	AM
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/14103">https://hdl.handle.net/11094/14103</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

パネルディスカッション 「学術情報流通の未来  
— 出版社、利用者の語る10年後」  
次世代OPACから連携の枠組みへの期待

久保山 健 (KUBOYAMA Takeshi)

大阪大学 情報推進部 情報基盤課 (図書館システム担当)

<June 24, 2009>

第5回学術情報ソリューションセミナー

会場: ヒルトンプラザ ウェスト8F(大阪)

# 本日の骨子

1. 自己紹介
2. 次世代OPACって?
3. 海外事例
4. 国内事例、検討状況
5. ベンダー、代理店、図書館の連携  
↑ <これがメイン>
6. (補足)

※2009.2.19.のNEC 平成20年度 図書館研究会  
でのパネラーとしての発表を元にしています。

## 「次世代OPACの可能性

— 大学図書館界の現況の紹介、ベンダー様との協同、及び情報交換の枠組み」

# 1. 自己紹介

- ◆ 久保山 健 (くぼやま たけし)
- ◆ 大阪府 寝屋川市 在住
- ◆ 現在の所属: 大阪大学 情報推進部  
情報基盤課 図書館システム担当 (約4年)
- ◆ 経歴: 図書受入、雑誌全般、図書の契約、和漢書の目録
- ◆ 大阪大学附属図書館が使用している業務システム: NEC LICSU-Web  
(\* )契約期間: 2007.3.~2012.3.

## 2. 次世代OPACって？

### ◆ 以下のものが代表例

- ・ シンプルな検索ボックス
- ・ 絞り込み機能
- ・ 関連語の表示
- ・ 適合度によるソート
- ・ コメント、レビュー機能（利用者参加型機能）
- ・ リコメンド機能

### ◆ けれど、特定の機能などを指すものではない

※1年前の本セミナー、九州会場で、九州大学図書館様からも発表あり

## 3. 海外事例 (1)

### ◆ AquaBrowser

- 商用ソフト
- University of Chicago
- Queens Library, Jamaica, NY など

## 3. 海外事例 (2)

### ◆ VuFind

- オープンソース
- National Library of Australia など

## 3. 海外事例 (3)

### ◆ eXtensible Catalog

- ・オープンソース
- ・ロチェスター大学(USA)が中心に

## 4. 国内事例、検討状況 (1)

◆ 日本事務器(株)の "NeoCILIUS" (レビュー機能等)

- パッケージシステム
- 東京経済大学図書館 など

## 4. 国内事例、検討状況 (2)

### ◆大手ベンダーの動向

- ・いくつかの主要大学で、システム更新が1-2年後に迫っている。そろそろ何か開発しないといけないタイミング??
- ・オープンソースを採用することも検討中??

## 4. 国内事例、検討状況 (3)

### ◆海外商用ソフト／代理店

- 個別のデモやセミナーでの紹介を行っている
- 日中韓の言語(CJK)や、NACISIS-CAT(WebCAT)のレコードフォーマットへの対応など、確実に必要な作業あり
- 対応は、早くて2009～2010年???

## 4. 国内事例、検討状況 (4)

### ◆大学図書館

- 一部で、情報交換や、気運を盛り上げる動き (2008年度前半)
- 個別の学習会で取り上げられつつある様子 (2008年度後半)

<<情報交換、情報共有の必要性>>

知見、製品、アイデア、事例、ノウハウ…

## 5. ベンダー、代理店、図書館の連携 (1)

- ◆ 図書館の業務とサービスは、、、パッケージシステム及びベンダーの導入支援がないと成り立たない
- ◆ あとからカスタマイズするより、より良いパッケージシステム

## 5. ベンダー、代理店、図書館の連携 (2)

### ◆国立大学図書館のシステム更新の流れ

- ・ 約5年毎に更新。仕様書に基づく入札
- ・ パッケージシステムを導入
- ・ パッケージシステムで実現できない機能は、「カスタマイズ」  
当然、その分、コストに跳ね返る

## 5. ベンダー、代理店、図書館の連携 (3)

### ◆意見交換から要求の最大公約数化

- ・次世代OPACは新しいトピックなので、今後の意見交換を期待
- ・その枠組みが図書館システム全般にも広がる可能性はないのか
- ・外部サービス(ERMSなど)を活用する際の枠組みにも活用できるか

## 5. ベンダー、代理店、図書館の連携 (4)

### ◆「オープンソース化」

ーオープンソースを大学側が自力で導入することについては疑問あり(人材、人員、時間の観点)

ーベンダーのサポート付きなら、あり得る

ー商売として成り立つものでないとベンダーもやる気が出ない?

結果として弱体化? / 利益が出る構造も必要?

## 5. ベンダー、代理店、図書館の連携 (5)

### ◆「仕様の共通化」

- すぐには難しい(当然)
- 個別図書館での業務の標準化
  - 効率化 というのは概ね共通理解
  - 複数図書館で標準化→効率化
  - サービス向上 へ
- ユーザ会や横の連携
  - パッケージシステムへの反映
  - (結果として)パッケージに合わせた業務
  - (結果として)仕様の共通化

## 5. ベンダー、代理店、図書館の連携 (6)

### ◆「仕様の共通化」

○カナダ・オンタリオ州の3つの大学図書館による、システムの「共用」の例もあるが.

...

○議論していく中で何か出てきてほしい

## 5. ベンダー、代理店、図書館の連携 (6)

### ◆「仕様の共通化」

#### ● 具体的手段

#### ● 国立系の機関は、“入札”の仕組みとどう折り合いを付けるのか

ー5年レンタルの制約。長期的にベンダーとお付き合いできない制度

## 5. ベンダー、代理店、図書館の連携 (7)

### ◆「仕様の共通化」

(参考)

・先週(6/17)東京で同じような話題がありました。

林賢紀氏

「OPACと図書館システムの「次」を目指して」

<http://researchmap.jp/tzhaya/資料公開/>

東京西地区大学図書館協議会2009年度研修セミナー

「図書館システムを再び考えるーベンダーと図書館サイドが望むシステム機能ー」

# (補足)次世代OPAC関連

- ◆「ユーザ目線」で作るには(ARGブログ版から)
- ◆次世代OPAC情報交換用メーリングリスト  
[http://dwsv.library.osaka-u.ac.jp/pitt\\_report/nxopac.html](http://dwsv.library.osaka-u.ac.jp/pitt_report/nxopac.html)
- ◆セミナー等で取り上げていただきたいシステム・ベンダーさんとどのように協働できるか。

# (補足.2)いくつかの「10年後」

## ◆OPACは現役

- Googleや電子資料の興隆はあるにしても
- 館内資料へのナビゲート機能はなくならない(と思う)
- カード目録的なOPACは、もう無い
- けれど、館内資料の情報が、“One of Some” になっているかもしれない(特に大学業界)

# (補足.3)いくつかの「10年後」

## ◆「司書」という言葉は死語!?

- ・少なくとも「ノスタルジックな司書」という概念は消えている
- ・比重が、Webでのユーザナビゲーション、サービス業的発想、周辺の知識やノウハウなどに移っている

#そんな「司書」なら、用語は何でもいい

ご静聴ありがとうございました。

続きはディスカッションで

